



体育祭

体育祭を通じて より多くの繋がりを

2022年度 体育祭実行委員長

理工学部 電気電子通信工学科 3年 木邑 健太

今年度の体育祭は5月4日(水)、5月5日(木)に3年ぶりの開催となりました。入学してから今まで大学のイベントが次々と中止となっていく、大学生活の思い出があまり作れてこなかったと思います。その中で今回体育祭が開催出来たことは大変嬉しく思います。

今年の体育祭は等々力キャンパスが世田谷キャンパスに移転したこともあり、男女関係なく誰でも参加しやすい競技にしようということで“フットサル、ドッジボール、リレー、綱引き、大縄跳び、フリースロー対決”の6種目を行いました。しかし、参加人数不足により行えない種目があったり、競技の遅延等でタイムスケジュール通りに行えなかったりと運営が難しい状態になってしまいました。そんな中でも参加して下さった学生が一生懸命になってくれて、運営している側も一緒に楽しませていただき、大きな怪我もなく無事に終えることが出来ました。今回は時間を分けて学年別に開催したことによって同学年で非常に話しかけやすい環境が作れたと思います。その結果、競技終了後に連絡先を交換している姿を見かけ、体育祭を通じて開催目的である学科内だけでなく他学科との繋がりを持ったのではないかと感じました。また、普段あまり身体を動かさない人も気軽に“勝負”という勝ち負けのある場で競い合うことができ、心身共にとてもいい刺激になったのではないかと考えています。

最後になりますが、体育祭の開催にあたってご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。来年度はさらに良い体育祭が行えるよう努めてまいります。



フレッシュャーズ・キャンプ

社会メディア学科 フレッシュャーズ・キャンプ2022

メディア情報学部 社会メディア学科 主任教授 中村 雅子

2022年4月8日に、3年ぶりに対面のフレッシュャーズ・キャンプを実施しました。天気もよく、五分咲きのしだれ桜、ほころびはじめの八重桜など、花の美しい季節の横浜キャンパスでの開催です。

まだ大学の方針として宿泊が許可されていないことから、当日は密を避けてクラスごとに集まり、コロナ禍以前とは異なる日帰り実施としました。内容はクラスごとに異なりますが、クラス担任教員の自己紹介の他、先輩にコツを聞きつつ、グループごとに話し合いながら履修計画(時間割)を組み立てたり、チームに分かれてストローとセロテープだけで制作した塔の高さを競うグループワーク「ストローワークショップ」に取り組んだり。後半には、やはり少人数のグループに分かれて、教員や先輩アシスタント学生と一緒に学内の案内を兼ねた散策を行いました。

どのクラスでも新入生同士が話し合う明るい話し声や笑い声が聞こえ、久しぶりにキャンパスに活気が戻ったことを感じる一日となりました。フレッシュャーズ・キャンプをきっかけに、気軽に声を掛け合える友だちを作り、充実した学生生活を送ってくれることを期待しています。

